



「日韓交流おまつり 2017 in Seoul」で日本の地域の魅力を発信！

(一財)自治体国際化協会ソウル事務所 所長補佐 池之上 祐太 (鹿児島県派遣)

2005年、日韓国交正常化40年「日韓友情年」を機に始まった日韓交流おまつりは、今年で13回目を迎えました。日韓最大の草の根交流イベントである本イベントには、毎年、両国のさらなる友好の増進を目的に多くの団体が参加し、伝統舞踊等のステージ公演はもちろん、両国の文化を体験できるブース、地域の観光資源や特産品をPRするブースなどが出展し、会場を盛り上げています。

日韓最大の草の根交流イベント

今年は「共に歩もう心ひとつに」をテーマに、9月24日(日)にソウル特別市江南区のCOEXで開催されました。「日韓最大の草の根交流イベント」に相応しく、1日に約6万人が来場し、会場は熱気に包まれました。

午前11時。ステージ公演は日本文理大学チアリーディング部の公演でスタートしました。2018年の冬季オリンピック・パラリンピック競技大会が韓国江原道の平昌郡で開催されることもあり、公式マスコットの「スホラン」、「バンダビ」も登場。日韓オリンピック・パラリンピック応援パフォーマンスを披露して華々しく幕を開けました。その後も鳥取東高校による書道パフォーマンスやソウル市少年少女合唱団とソウル日本人学校の合同公演のほか、伝統舞踊やK-POP、J-POPなどの公演が続き、ステージを彩りました。

一方、ブースでは企業や地方自治体のほか、着物や浴衣の試着、日韓両国の伝統遊びなどを体験できるブースが出展し、来場者は着物や浴衣、韓服を着ての記念写真撮影などを楽しみました。日本からは宮城県、鳥取県、



圧巻の伝統舞踊パフォーマンス

山口県、高知県、長崎県など10の自治体およびその関係機関が出展し、自治体PRはもちろんのこと、伝統衣装を着てのパフォーマンスや日本酒の試飲、ご当地アイドルとのコラボやお楽しみ抽選会など、多種多様なイベントを実施して来場者を楽しませました。

人気ご当地キャラクターが登場

クレアソウル事務所のブースでは、韓国の人たちに、日本の自治体に関心を持ってもらえるよう、パンフレットやポスター、PR映像を使った広報のほか、地方の特産品が当たる抽選会やゲームを通じて日本全国の自治体PRを展開しました。その中で、日本でも人気のあるご当地キャラクターである栃木県佐野市の「さのまる」と愛媛県の「みきゃん」が登場し、来場者との交流を通じて日本の自治体の魅力を発信しました。

佐野市は栃木県の南西部に位置する都市で、南北に走る東北自動車道と東西に走る北関東自動車道が交差し、首都圏行き的高速バスも充実した交通の要衝であるとともに、豊富な湧水をはじめ豊かな自然に囲まれた地域でもあります。「さのまる」は、頭にかぶった佐野ラーメンのどんぶりと、腰に挿した“いもフライ”を模した刀が特徴的なキャラクターです。一方、「みきゃん」は、愛媛県の特産品であるみかんを模したキャラクター

で、ハート型の鼻とみかんの花のしっぽがチャームポイントです。どちらもその愛らしい姿で来場者の注目を集め、来場者と握手をしたり、記念写真撮影を行ったりして交流を深めました。ブースを訪れた人たちからは、「どこの自治体のキャラクターなの?」、「何をモチーフにしているの?」などの質問が多く寄せられ、日本の自治体に関心を持ってもらう良いきっかけづくりとなりました。

JETがつなぐ日韓の地域間交流

日本の自治体や学校などにおいて外国語指導や国際交流業務で活躍する海外の青年を受け入れる「JETプログラム」は、昨年、設立から30周年を迎え、韓国からも多くの若者たちが参加しています。今年度までの31年間の参加延べ人数は、67カ国から6万6,000人以上、うち韓国からは400人以上にのぼります。

また、韓国では、元JETプログラム参加者で構成するJETAAの韓国支部が、日韓の文化交流イベントやJETプログラムに関する説明会を実施するなど、年間を通して本プログラムの広報活動を行っています。

今回の日韓交流おまつりでは、クレアソウル事務所のブースにJETプログラムに関するコーナーを設け、JET経験者5人が、活動写真が掲載されたパネルで説明し



来場者と交流するご当地キャラクター

たほか、自身の業務や日常生活に関する体験談を交えながら来場者に JET プログラムの内容を紹介しました。ブースを訪れた人たちからは JET の業務内容や受験に向けた対策の仕方、日本での生活のコツなどに関する質問が多数寄せられ、真剣な表情で説明を聞く様子が見られました。JET プログラムは、まさに韓国を含む海外と日本との地域間交流の架け橋です。日韓交流おまつりは、そのような JET プログラムの役割について、韓国の多くの若者たちに知っていただく大変良い機会となりました。

共に歩もう心ひとつに

午後 7 時 30 分。ステージ出演者のみならず一般の観覧客をも巻き込んだ舞踊パフォーマンスが圧巻のフィナーレを飾り、今年の日韓交流おまつりは幕を下ろしました。会場が一体となったフィナーレは、まさに本イベントのテーマである「共に歩もう心ひとつに」に相応しいものとなりました。

日韓交流おまつりを訪れた来場者のアンケート結果では、「多様で完成度の高い公演や体験イベント、ブースに満足した」、「日韓両国民との交流や文化体験に満足した」、「日韓両国に対する情報や知識を得ることができた」などの感想が寄せられ、多くの来場者が本イベントを通

じて日韓両国の文化を肌で感じたことが分かります。これは、日韓交流おまつりが韓国の草の根交流に大きな役割を果たしていることを表していると言えるのではないのでしょうか。

また、ブースを出展した日本の自治体担当者からは、予想以上に多くの韓国の方たちにブースに足を運んでいただき、今回の活動が韓国での自治体の知名度向上につながったという声も聞かれました。

しかしながら、日韓の地域間交流がこれからも深く根付いていくためには、この日韓交流おまつりに留まらず、息の長い交流を継続していくことが必要です。クリアソウル事務所では、本イベントを一つのきっかけと捉え、今後もさまざまな事業を通して日本の自治体の魅力発信と日韓の地域間交流をサポートする取り組みを推進して参ります。

日本の自治体の皆さん、来年は是非、日韓交流おまつりにブースを出展してみませんか？

- 「日韓交流おまつり 2017 in Seoul」公式サイト
<http://omatsuri.kr/?lang=jp>
- クリアソウルホームページ「日韓交流おまつり」
<http://www.clair.or.kr/appeal/omatsuri/omatsuri.asp>



体験談に基づき説明する JET 経験者